

(2) 計画の目標

市民が学び、つどい、まちは輝く。学びと活動の環を広げよう。

2. 基本方針と施策の視点

この目標を実現するため、「第3期教育振興基本計画（平成30年6月）」や「中央教育審議会答申（平成30年12月）」等を踏まえた新たな視点から4つの基本方針を定めます。また、生涯学習施策の実施にあたっては、次の8つの視点を基に、今後展開していく施策を3つの柱に沿って推進することとします。

(1) 基本方針

- 人生100年時代を豊かに生きるための生涯学習社会づくり
- 「学び」と「活動」が循環する生涯学習社会づくり
- 多様な主体のネットワークによる生涯学習社会づくり
- 子どもの成長への関わりを通して「家庭」や「地域」の力が高まる生涯学習社会づくり

(2) 施策の視点

- きっかけづくり
より多くの人々が学びの場と活動の場に一步踏み出すきっかけをつくります。
- 人づくり
地域課題の解決に向けた学習活動の成果を地域活動、ボランティア活動等に活かす人材を育成します。
- つながりづくり
学びや活動に参加することで、共に学ぶ・活動する仲間が生まれます。特に、地域では住民同士の仲間意識や絆を強めていきます。
- 地域づくり
学びを通して地域課題に対する住民の関心を高めるとともに、住民同士の結びつきを強め、「住民主体のまちづくり」を推進します。
- ネットワークづくり
地域団体や社会教育関係団体、学校、NPO、ボランティア、企業などの多様な主体が課題に応じて、連携・協働し、お互いの強みを活かし、より効果的に生涯学習を推進します。
- 多様性への対応
市民一人一人の個性や多様な生き方、主体性を大切にしながら、全ての人々が学習できる機会や環境を提供します。

●支援体制づくり

市民の学びを支援するため、行政全体で横断的に連携・協働する体制を構築します。

●行財政改革

本市を取り巻く財政状況が厳しさを増す中、生涯学習の推進にあたって、「選択と集中」を進めていく必要があります。市が行う必要性やサービス水準、効率的な運営等の視点を持ち、各事業の点検、評価、見直し、改善を進めながら計画を実行します。

3. 施策の柱と具体的な施策

施策の柱 1 誰もが気軽に「学び」と「活動」に参加できる環境づくり

人生 100 年時代においては、すべての人が生涯を通じて自らの人生を設計し、学び続け、学んだことを活かして活動していくことが求められます。

また、すべての人が、それぞれのライフステージや多様性に応じた「学び」に参加できる環境づくりが求められます。

そのため、「学び」と「活動」の情報提供の拡充や「学び」と「活動」の場づくりなど、市民がいつでも・どこでも・何度でも自由に学んだり、活動したりすることのできる環境づくりを支援していきます。

具体的な施策 1	「学び」と「活動」の情報提供の拡充
具体的な施策 2	気軽に相談ができる体制づくり
具体的な施策 3	多様な「学び」の機会の提供
具体的な施策 4	「学び」と「活動」の場づくり

施策の柱 2 「学び」と「活動」による人づくり

人々が社会生活を営む上で、取り組むべき現代的・社会的な課題は、社会環境の変化に伴い、多様で複雑化しています。今後、一人一人がこうした課題と向き合いながら、より豊かな人生を送ることのできる持続可能な社会づくりを進めていかなければなりません。特に地域においては、住民自らが地域づくりの担い手としてその運営に主体的に関わっていくことが求められています。

そのため、「学び」と「活動」の機会を充実させることにより、多様な課題を解決するための能力やスキルを備えた人材の発掘・育成に取り組めます。

学習することによって自らの心を豊かにし、個人の生きがいや生活に必要な知識、技術を習得するだけでなく、その学習成果を社会へ還元していくことは、学習者にとって大きな喜びにつながります。また、自らの学習成果が誰かの役に立つことでやりがいも増し、

さらなる学習意欲につながります。この「学びと活動を循環」させることのできる人づくりが求められます。

そのため、学習成果を活かしたい人や団体等とそれを求める人や団体等とのつなぎ役となる人材や地域にある多様な資源（NPO、ボランティアなど）を活かすことができる人材の発掘・育成に取り組みます。

具体的な施策1	「学び」と「活動」を通じた人材の発掘・育成
具体的な施策2	「学び」と「活動」をつなぐ人材の発掘・育成

施策の柱3 「学び」と「活動」によるつながりづくり

地域における人と人とのつながりの希薄化等により、近所付き合いが減るなど高齢者や困難を抱えた人が地域で孤立するという深刻な状況が生じる恐れがあります。

「学び」と「活動」の循環は、人と人とのつながりをつくり、信頼関係や結びつきを強めることにもなります。

そのため、「学び」と「活動」の場の提供を通して仲間づくりを支援します。

また、地域コミュニティを活性化させるため、地域文化や伝統行事・祭りなどを通じた人と人とのつながりから生まれる地域への愛着・誇りといったシビックプライドの醸成を図ります。

子どもの「生きる力」を育むには、友達同士の集団遊びや生活体験、自然体験、社会体験など地域を舞台にした多様な体験の充実が求められています。

また、家庭は、子どもが家族との愛情による絆を形成し、人に対する基本的な信頼感や倫理観、自立心などを身に付けていく場でもあります。

就労状況や家族形態の変化など家庭を取り巻く環境が大きく変わる中、不安や悩みを抱えながらも孤立することなく楽しく子育てができるよう、地域全体で子どもの育成を支える仕組みづくりが求められています。

そのため、家庭、地域それぞれの教育力を高めるとともに、相互の連携を強化し、家庭・地域・学校が一体となって子どもたちの発達・育成を促す環境づくりに取り組みます。

具体的な施策1	「学び」と「活動」による仲間づくり
具体的な施策2	つながりから生まれる地域への愛着・誇り
具体的な施策3	学校と家庭・地域がつながる教育力の向上